

市指定 延命寺の版木

- 所在地：高谷1234
(市郷土博物館保管)
- 所有者：延命寺



弘法大師



理源大師

元龜2年(1571)に制作されたこの版木には、弘法大師と理源大師が彫刻されています。密教の阿闍梨となるため修行する四度加行の時、この版木で印刷した、右に弘法大師の図柄、左に理源大師の図柄を本尊として掲げたと伝えられています。延命寺は市内有数の古刹であり、常法檀林と呼ばれる、僧侶の学問所でした。この版木は中世延命寺の隆盛を今に伝えるものです。

延命寺の版木は、縦64cm、横44cm、厚さ3.4cmで素材はサクラです。側面には、「元龜二年六月 治田善明院俊等作之」「高谷延命寺寛海法印求之」とそれぞれ刻まれていたことから、制作年と延命寺の15世である僧侶寛海がこの版木を手に入れたことが判明しています。



延命寺

延命寺

地藏菩薩を本尊としています。

神龜元年(724)に行基が創建したと伝わる寺院で、戊辰戦争によって明治元年に堂宇が焼失しています。惣門は火災を免れており、17世紀末ごろの建設と考えられています。